

心のバリアフリー取組事例集



国土交通省中国運輸局交通政策部バリアフリー推進課

令和5年3月

目次

中国運輸局の取組事例	2
1. 職員向けバリアフリー教室	2
2. 空港でのバリアフリー教室・施設見学	4
3. 交通バリアフリー教室（バス）	6
4. 旅客船の乗り方教室	8
5. ウォーキングフットボール体験等によるバリアフリー教室	10
6. 子育てタクシー接遇講習会	12
7. まち歩き点検（西広島駅の現地視察）	14
市町村主体の取組事例	16
1. バスの乗り方教室（山口市）	16
2. 総合的な学習の時間「みんなにやさしい海田町」	18
3. 「おもてなしマイスター制度」（倉敷市）	20
4. バリアフリー整備済み箇所現地点検（米子市）	22



中国運輸局の取組事例

1. 職員向けバリアフリー教室

実施主体	主催：中国運輸局 講師：社会福祉法人もみじ福祉会 理事長 井上 一成
対象者	中国運輸局職員、中国地方整備局職員（現地参加 33 名、WEB 参加 5 名）
テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害の社会モデルの理解 ・ 車いす利用者及び視覚障害者の特性理解
取組の概要	<p>中国運輸局会議室において、講師による座学、車いす体験、視覚障害者疑似体験を実施。座学では、社会福祉法人もみじ福祉会の取組から「障害の社会モデル」について学んだ。座学の後、車いす体験及び視覚障害者疑似体験を行い、学習を行った。</p> <p>①講師・当事者の方の話</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>  <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>②車いす体験</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>③視覚障害者疑似体験</p>  </div> </div>
工夫・留意した点	<ul style="list-style-type: none"> ・ WEB と現地のハイブリッド開催にすることで、現地に来ることができない職員も講義を聞けるようにした。 ・ 障害当事者の方にお越しいただき、お話を伺った。
実施日時	令和 4 年 5 月 3 1 日 (火) 1 4 : 0 0 ~ 1 5 : 4 0
実施形式	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義 ・ 車いす体験 ・ 視覚障害者疑似体験
費用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「謝金の標準支払基準」に基づき講師へ謝金を支払。 ・ 車いす等の器材は社会福祉協議会からレンタル。





運営体制	中国運輸局バリアフリー推進課職員にて運営（会場設営・受付・司会進行・WEB 接続・体験補助）
------	--

2. 空港でのバリアフリー教室・施設見学

実施主体	<p>主催：中国運輸局 共催：中国地方整備局、大阪航空局広島空港事務所 協力：広島国際空港株式会社、三原市、三原市教育委員会、 社会福祉法人三原市社会福祉協議会 講師：特定非営利活動法人小規模はげみ会作業所 理事長 内 秀孝</p>
対象者	三原市立本郷西小学校4年生25名
テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・車いす利用者の特性理解 ・心のバリアフリーの学習 ・空港が行うバリアフリーの取組を見学
取組の概要	<p>講師のお話を聞き、車いす体験、バリアフリークイズを実施。その後、フルフラット化された搭乗橋を見学し、バリアフリー施設について学習。最後にバリアフリースイレを見学した。</p> <p>車いす体験では、車いすユーザーである講師から乗り方や介助方法などについて指導を受けた。バリアフリークイズにおいても児童が積極的に参加し、バリアフリーの重要性について学んだ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>①講師・当事者による話</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>②車いす体験</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>③バリアフリークイズ</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>④搭乗橋見学</p>  </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>⑤バリアフリースイレ見学</p>  </div>
工夫・留意した点	<ul style="list-style-type: none"> ・車いすユーザーである講師に実際の日常での困りごとなどをお話いただいた。






	<ul style="list-style-type: none"> ・校外で学習をすることで、より生活に即したバリアフリーについて学習。
実施日時	令和4年6月17日(金) 13:30～15:00
実施形式	<ul style="list-style-type: none"> ・講義 ・車いす体験 ・施設見学
費用	<ul style="list-style-type: none"> ・「謝金の標準支払基準」に基づき講師へ謝金を支払。 ・車いすは社会福祉協議会からレンタル。
運営体制	<ul style="list-style-type: none"> ・中国運輸局及び中国地方整備局の職員にて運営（先生、児童の移動手段の手配・司会進行・誘導・取材対応）。 ・広島国際空港株式会社の方々に動線の確保等のご協力をいただいた。

3. 交通バリアフリー教室（バス）

<p>実施主体</p>	<p>主催：中国運輸局 協力：芸陽バス株式会社、社会福祉法人東広島市社会福祉協議会</p>
<p>対象者</p>	<p>東広島市立高屋東小学校3年生20名</p>
<p>テーマ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリークイズや優先座席の説明、高齢者疑似体験を通じた心のバリアフリーの学習 ・バスの乗車体験等を通じてバスに親しみを感じてもらう
<p>取組の概要</p>	<p>教室でバリアフリークイズを行い、心のバリアフリーについての学習を実施。その後駐車場で、バスの乗車・降車体験、車内放送体験、優先座席の説明、バスの死角など安全についての説明、車いす利用者がバスに乗降する様子の見学、高齢者疑似体験セットを着用してバスの乗り降りの体験を行った。高齢者疑似体験は、児童が3人一組で実施し、高齢者役1名、介助役2名に分かれることで、バリアを取り除くにはどのような声かけやサポートが必要か考えた。最後はバスに親しむ時間とし、運転席に座る体験などを行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>①バリアフリークイズ</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>②乗車体験</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>③車いすでの乗降を見学</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>④高齢者疑似体験</p>  </div> </div>
<p>工夫・留意した点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・車いすでバスに乗る様子を見学することで、バリアフリーの必要性を学習した。 ・東広島市立高屋東小学校及び社会福祉法人東広島市社会福祉協議会と連携し、教室に参加した児童だけでなく、地域の中学生や住民にも教室の見学を行ってもらうことで、より幅広い年代への啓発も行った。
<p>実施日時</p>	<p>令和4年9月15日(木) 10:20～11:55</p>
<p>実施形式</p>	<p>・バリアフリークイズ</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乗り方教室 ・ 車いす利用者がバスに乗る様子を見学 ・ 高齢者疑似体験
費用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 費用負担無し。車いす等の器材は関係者が所持しているものを使用。
運営体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中国運輸局職員にて運営（司会進行・クイズの実施・取材対応）。 ・ 乗車体験等の乗り方教室は芸陽バス株式会社に、高齢者疑似体験は社会福祉法人東広島市社会福祉協議会に実施いただいた。

4. 旅客船の乗り方教室

<p>実施主体</p>	<p>主催：中国運輸局 協力：瀬戸内海汽船株式会社、社会福祉法人広島市社会福祉協議会 講師：社会福祉法人もみじ福祉会 理事長 井上 一成</p>
<p>対象者</p>	<p>広島市立広島特別支援学校 高等部職業コースの生徒 4 2 名</p>
<p>テーマ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・心のバリアフリーの学習 ・旅客船の乗船体験を通じ、公共交通機関の利用を促進する
<p>取組の概要</p>	<p>広島港宇品旅客ターミナルにて、バリアフリープロモーターである社会福祉法人もみじ福祉会井上理事長より、「車いす利用者と一緒に移動する際に注意することや心構えについて」の講義を実施。その後、同ターミナルで切符購入疑似体験、車いす体験、救命胴衣の着用体験を実施。広島港発の瀬戸内海汽船株式会社の旅客船「シーパセオ」に乗船し、船内見学を実施。呉港で下船し、石崎汽船フェリーで広島港へ戻り解散。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>①井上理事長より講義</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>②広場での車いす体験</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>③切符購入疑似体験</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>④救命胴衣着用体験</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>⑤シーパセオ乗船</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>⑤シーパセオ乗船(船内見学)</p>  </div> </div>
<p>工夫・留意した点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で実施している福祉の学習の延長線上として、校外（宇品旅客ターミナル外広場・旅客船）での車いす体験を実施。事前、事後学習と連携することで、効果的な学習を行った。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害当事者である生徒に券売機や窓口での切符購入疑似体験を実施することで、生徒自身の自立に向けた学習を行った。
実施日時	令和4年11月22日(火) 9:30～15:05
実施形式	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義 ・ 車いす体験 ・ 乗り方教室
費用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉協議会の事業を活用し講師を派遣。 ・ 車いすは社会福祉協議会からレンタル。
運営体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中国運輸局職員にて運営（司会進行・誘導）。 ・ 車いす体験は講師の井上氏に、切符購入疑似体験等の乗り方教室は瀬戸内海汽船株式会社に実施いただいた。

5. ウォーキングフットボール体験等によるバリアフリー教室

<p>実施主体</p>	<p>主催：中国運輸局 協力：株式会社サンフレッチェ広島、広島市 講師：一般社団法人広島県インクルーシブフットボール連盟、 A-pfeile 広島</p>
<p>対象者</p>	<p>広島市立落合東小学校5年生74名</p>
<p>テーマ</p>	<p>心のバリアフリーの学習</p>
<p>取組の概要</p>	<p>ウォーキングフットボールは、運動の得手・不得手や障害の有る無しにかかわらず、みんなが競技に参加し楽しめるように、「歩く」「ボールを持った人から離れる」などのルールを話し合いで決めることができる競技。話し合いの中で、相手のことを考えバリアを取り除くためにはどうしたら良いか考えることにより、心のバリアフリーの学習につながった。また、心のバリアフリークイズにより、障害に関する理解啓発及び心のバリアフリーを実践するための行動について学習を行った。</p> <p>教室には、Jリーグが掲げる社会連携活動（シャレン！）の一環として、広島市にホームタウンを置くプロサッカークラブサンフレッチェ広島から、川村選手に参加いただくとともに、障がい者サッカーチームである A-pfeile 広島からも講師として選手に参加いただいた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>サンフレッチェ広島川村選手</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>A-pfeile 広島</p>  </div> </div> <div style="border: 2px solid purple; border-radius: 20px; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>①ウォーミングアップ（氷鬼）</p> <p>通常の氷鬼とは違い、「鬼の人数を変える」など、鬼側、逃げる側の両方が楽しめるように話し合いでルールを決めた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> </div>

②ウォーキングフットボール体験


運動の得手・不得手や障害の有る無しにかかわらず、みんなが競技に参加し楽しめるように、「歩く」「ボールを持った人から離れる」などのルールを話し合いで決めた。









③心のバリアフリークイズ

点字ブロック、バリアフリートイレ、ヘルプマークや耳マーク等に関するクイズを行い、障害に関する理解啓発および心のバリアフリーを実践するための行動について学習を行った。









	<p>②ウォーキングフットボール体験</p> <p>運動の得手・不得手や障害の有る無しにかかわらず、みんなが競技に参加し楽しめるように、「歩く」「ボールを持った人から離れる」などのルールを話し合いで決めた。</p>  <p>③心のバリアフリークイズ</p> <p>点字ブロック、バリアフリートイレ、ヘルプマークや耳マーク等に関するクイズを行い、障害に関する理解啓発および心のバリアフリーを実践するための行動について学習を行った。</p> 
工夫・留意した点	<ul style="list-style-type: none"> ・障害当事者（肢体不自由）である選手の方にも参加いただき、学習を行った。 ・担任の先生と相談し、教材を提供するなどして事前、事後学習との連携を図った。
実施日時	令和4年12月2日(金) 13:45～15:20
実施形式	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングフットボール ・バリアフリークイズ
費用	<ul style="list-style-type: none"> ・「謝金の標準支払基準」に基づき講師へ謝金を支払。 ・株式会社サンフレッチェ広島と所要の手続きを実施。
運営体制	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の進行およびバリアフリークイズは中国運輸局職員が実施。 ・ウォーキングフットボールは講師の一般社団法人広島県インクルーシブフットボール連盟のスタッフにより運営（司会進行・誘導）。 ・広島市職員はバリアフリークイズ補助・写真撮影等に協力。







6. 子育てタクシー接遇講習会

<p>実施主体</p>	<p>主催：中国運輸局 協力：一般社団法人広島県タクシー協会 講師：株式会社東広島タクシー 専務取締役 山田 章夫 NPO 法人ひろしま NPO センター 理事 香川 恭子</p>
<p>対象者</p>	<p>タクシー会社の管理職職員及び運転手 計10名</p>
<p>テーマ</p>	<p>妊産婦、子育て世代の旅客に対する接遇の向上</p>
<p>取組の概要</p>	<p>中国運輸局の会議室にて座学を実施。（以下題目）</p> <p>(1) 公共交通事業者接遇ガイドライン・子育て関係サイトの紹介 (中国運輸局)</p> <p>(2) 「子育て世代のタクシー運行について」 (株式会社東広島タクシー)</p> <p>(3) 「タクシーを利用する際に妊娠中の女性・子育て中の保護者が うれしい対応／困ること」 (NPO 法人ひろしま NPO センター)</p> <p>座学後、広島合同庁舎の駐車スペースにて、ベビーカーの広げ方及び 畳み方を実際に行った。またコンフォート型のタクシーとユニバー サルデザインタクシーを使用し、ベビーカーと荷物を持った妊婦役職 員に対して参加者が実際に乗降介助を行った。参加者は接遇方法につ いて講師の助言を受けた。最後に、参加者一人一人が妊婦ジャケット を着用し、妊婦の気持ちになって考える体験も行った。</p> <p>①座学（全体の様子）</p>  <p>①座学（株式会社東広島タクシー様）</p>  <p>①座学（NPO 法人広島 NPO センター様）</p>  <p>②接遇体験（ベビーカー折り畳み）</p>  <p>②接遇体験（妊婦役職員を接遇）</p>  <p>②接遇体験（講師による助言）</p> 

工夫・留意した点	ベビーカー、妊婦ジャケットを用意することで、より実態に即した体験を実施し、接遇にあたっての細かい注意点も講師から受けることができた。
実施日時	令和4年11月15日(火) 9:30~11:30
実施形式	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義 ・ 接遇体験
費用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「謝金の標準支払基準」に基づき講師へ謝金を支払。 ・ ベビーカーおよび妊婦ジャケットは、中国運輸局で所持しているものを用意し、足りない部分は関係各所からレンタルした。
運営体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中国運輸局職員にて運営（司会進行・誘導）。 ・ 接遇体験の際は、講師のお二方に指導等いただいた。

7. まち歩き点検（西広島駅の現地視察）

<p>実施主体</p>	<p>主催：中国運輸局 協力：西日本旅客鉄道株式会社中国統括本部、広島市</p>
<p>参加団体</p>	<p>一般社団法人 広島県ろうあ連盟 一般社団法人 広島県身体障害者団体連合会 公益社団法人 認知症の人と家族の会広島県支部 特定非営利活動法人 障害者生活支援センター・てごーす 広島難病団体連絡協議会 社会福祉法人 広島県視覚障害者団体連合会 一般社団法人 広島県手をつなぐ育成会 ※順不同</p>
<p>テーマ</p>	<p>施設設置管理者と障がい当事者が一体となりハード・ソフトのバリアの解決策を一緒に考える。</p>
<p>取組の概要</p>	<p>参加団体と西広島駅改札内の設備（券売機・案内表示、トイレ、E V等）及び自由通路、屋外トイレなどを順に点検した。</p> <p>チェックリストを参加団体へ配布し、各点検項目について気づいたことをメモしてもらい回収した。参加団体からの意見をまとめ、施設設置管理者と共有した。</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;"> <p>①みどりの券売機プラス</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p>①みどりの券売機プラス</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p>②通路・誘導案内（駅構内）</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p>③トイレ（駅構内）</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p>④ホーム（内方線付点字ブロック）</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p>⑤ホーム（案内表示・手すり・階段）</p>  </div> </div>

	<p>(改札外)</p> <p>①エレベーター </p> <p>②エスカレーター </p> <p>③トイレ </p> <p>③トイレ </p> <p>④駅自由通路（北口から南口） </p> <p>⑤南口・広場整備状況の説明 </p>
工夫・留意した点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2班に分かれて効率的に実施。 ・ 「みどりの券売機プラス」を使用し、参加者が実際にオペレーターとやりとりを行い切符を購入する体験を実施。
実施日時	令和5年1月17日(火) 10:20～11:40
実施形式	まち歩き点検
費用	手話通訳者・要約筆記者の派遣費用を支払い。
運営体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中国運輸局職員にて運営（誘導・チェックリスト配布、回収）。 ・ 設備等の説明は、それぞれ西日本旅客鉄道株式会社及び広島市の担当職員にて実施。

市町村主体の取組事例



1. バスの乗り方教室（山口市）

実施主体	主催：山口市公共交通委員会（実施：山口市交通政策課） 協力：山口市公共交通委員会のバス事業者・山口運輸支局等
対象者	山口市内の小学生等 （ホームページで公募し応募があった小学校等で実施）
テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの乗り方について様々なプログラムを通して学ぶ。 ・車いす体験等を通じて心のバリアフリーを学ぶ。
取組の概要	<p>平成20年度からバスの乗り方教室を開催。乗合バスによる乗車体験、マナークイズによる公共交通への理解の促進、交通安全に関する教育に加えて、車いす乗降体験、障害者・負傷者に座席を譲るロールプレイ等を通じて心のバリアフリーを学習。</p> <p>教室開催に当たっては、市のホームページ上で開催地を公募し、教育施設（保育園、小学校、養護学校等）や社会福祉協議会等からの応募を受けて開催。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="523 891 767 920"> <p>①ホームページで公募</p>  </div> <div data-bbox="906 891 1054 920"> <p>②乗り方教室</p>  </div> </div> <div data-bbox="523 1335 799 1364"> <p>③車いす乗降体験・見学</p>  </div>
工夫・留意した点	<ul style="list-style-type: none"> ・バスのマナークイズを作成。 ・優先座席を譲るロールプレイを実施することで実践的な学習を実施。
実施時期	6月～11月末の日中（土日祝日を除く）
実施形式	<ul style="list-style-type: none"> ・乗り方教室（乗降体験、運賃の支払方法、ICカード体験） ・車いす体験

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 模擬運行による優先座席を譲るロールプレイ
費用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共交通委員会の枠組みで実施。 ・ クイズボード等の器材は自前で作成又は関係者が所有しているものを持ち寄って実施。
運営体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山口市交通政策課職員にて運営（司会進行・クイズの実施等）。 ・ 乗車体験等の乗り方教室はバス会社にて実施。 ・ 中国運輸局山口運輸支局職員も協力。

※令和4年度中国運輸局環境保全及び交通バリアフリー等関係表彰受賞

2. 総合的な学習の時間「みんなにやさしい海田町」

実施主体	<p>主催：海田町都市整備課 協力：海田町町民生活課、海田町教育委員会、社会福祉法人海田町社会福祉協議会 講師：芸陽バス株式会社、社会福祉法人海田町社会福祉協議会、ボランティア団体「車椅子とことこクラブ」</p>
対象者	海田町立海田小学校 第3学年 66名
テーマ	総合的な学習の時間「みんなにやさしい海田町」
取組の概要	<p>総合的な学習の時間「みんなにやさしい海田町」では、「みんなに優しくする」ことを最終的なゴールとして、福祉をテーマに主体的に課題を見出し、協働的に課題解決に取り組んだ。その情報収集及び課題発見の場面で、低床バスの乗降体験、学校周辺の実際の歩道を使用した車椅子体験、ボランティアによる海田町の福祉についての説明を受け、より学習を深めていった。体験後、児童は「目が見えにくい人や車いすの移動の大変さが分かった」「困った人がいたら手助けしたい」などの感想を持ち、その後の学習に生かしていった。</p> <p>①低床バスの乗降体験</p>  <p>②車椅子体験、ボランティアによる海田町の福祉についての説明</p> 
工夫・留意した点	<ul style="list-style-type: none"> ・体験活動を総合的な学習の時間「みんなにやさしい海田町」における情報収集及び課題発見として扱った。 ・低床バスの乗降体験と車椅子体験の2グループに分かれて体験活動をすることで、少人数で長時間体験できるようにした。
実施日時	令和4年10月19日(水) 10:35 ~ 12:10
実施形式	<ul style="list-style-type: none"> ・低床バスの乗降体験（歩行・車椅子） ・学校周辺の実際の歩道を使用した車椅子体験 ・ボランティアによる海田町の福祉についての説明や質疑応答
費用	<ul style="list-style-type: none"> ・低床バスは芸陽バス株式会社が海田小学校グラウンドまで運行。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車椅子等社会福祉協議会からレンタル。 ・ 自治体支出は無し。
運営体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 芸陽バス株式会社、海田町町民生活課、社会福祉法人海田町社会福祉協議会にて運営（会場設営・体験補助） ・ 全体の司会進行は学校教員

3. 「おもてなしマイスター制度」(倉敷市)

実施主体	主催：倉敷市 協働団体：倉敷美観地区バリアフリー推進会議 社会福祉法人 倉敷市社会福祉協議会																																						
対象者	倉敷美観地区や周辺で働いている方、ボランティアで活動している方、居住している方及び制度の趣旨に賛同し受講を希望する方等。 令和4年度講習受講者242名(受講者合計)。																																						
テーマ	重要伝統的建造物群保存地区に指定されている倉敷美観地区及びその周辺において、建物等のハード面におけるバリアを「心のバリアフリー」により補完し、お年寄りや障がいのある方等倉敷を訪れる全ての方に快適なひとときを過ごしていただくための、おもてなしの「こころ」と「技術」を持った人材(おもてなしマイスター)を育成する制度。																																						
取組の概要	バリアフリー講習や接遇研修等の指定講習(3種)を全て受講した方に対し、認定審議会による審査を経て「おもてなしマイスター」として市長が認定する。※認定後は3年おきに更新講習(総論)を受講。 【令和4年度講習会の内容(講習1:総論)】※いずれか1つ以上受講。 <table border="1" data-bbox="480 1021 1337 1167"> <tr> <td>実施日</td> <td>令和4年6月27日(月)10:00~11:30</td> </tr> <tr> <td>タイトル</td> <td>「建築のバリアについて考えてみよう」</td> </tr> <tr> <td>講師</td> <td>大阪大学准教授 若本 和仁 先生</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="480 1196 1337 1344"> <tr> <td>実施日</td> <td>令和4年7月25日(月)15:00~16:30</td> </tr> <tr> <td>タイトル</td> <td>「ユニバーサルデザインのまちづくりとおもてなし」</td> </tr> <tr> <td>講師</td> <td>大阪大学講師 石塚 裕子 先生</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="480 1368 1337 1516"> <tr> <td>実施日</td> <td>令和4年12月16日(金)15:00~16:30</td> </tr> <tr> <td>タイトル</td> <td>「バリアフリーのひと・まちづくり」</td> </tr> <tr> <td>講師</td> <td>大阪大学名誉教授 新田 保次 先生</td> </tr> </table> 【令和4年度講習会の内容(講習2:接遇研修)】※いずれか1回以上受講。 <table border="1" data-bbox="474 1615 1331 1957"> <tr> <td rowspan="2">実施日</td> <td colspan="2">【1回目】令和4年10月20日(木)13:30~16:30</td> </tr> <tr> <td colspan="2">【2回目】令和4年11月17日(木)13:30~16:30</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">※講座内容は両日とも同じ</td> </tr> <tr> <td>タイトル</td> <td>高齢者疑似体験</td> <td>車椅子使用者に対する接遇</td> </tr> <tr> <td>講師</td> <td>中国運輸局岡山運輸支局</td> <td>倉敷市社会福祉協議会</td> </tr> <tr> <td>タイトル</td> <td>視覚障がい者に対する接遇</td> <td>講義「観光とADL」</td> </tr> <tr> <td>講師</td> <td>倉敷市社会福祉協議会</td> <td>理学療法士 川本 淳一 先生</td> </tr> </table>	実施日	令和4年6月27日(月)10:00~11:30	タイトル	「建築のバリアについて考えてみよう」	講師	大阪大学准教授 若本 和仁 先生	実施日	令和4年7月25日(月)15:00~16:30	タイトル	「ユニバーサルデザインのまちづくりとおもてなし」	講師	大阪大学講師 石塚 裕子 先生	実施日	令和4年12月16日(金)15:00~16:30	タイトル	「バリアフリーのひと・まちづくり」	講師	大阪大学名誉教授 新田 保次 先生	実施日	【1回目】令和4年10月20日(木)13:30~16:30		【2回目】令和4年11月17日(木)13:30~16:30			※講座内容は両日とも同じ		タイトル	高齢者疑似体験	車椅子使用者に対する接遇	講師	中国運輸局岡山運輸支局	倉敷市社会福祉協議会	タイトル	視覚障がい者に対する接遇	講義「観光とADL」	講師	倉敷市社会福祉協議会	理学療法士 川本 淳一 先生
実施日	令和4年6月27日(月)10:00~11:30																																						
タイトル	「建築のバリアについて考えてみよう」																																						
講師	大阪大学准教授 若本 和仁 先生																																						
実施日	令和4年7月25日(月)15:00~16:30																																						
タイトル	「ユニバーサルデザインのまちづくりとおもてなし」																																						
講師	大阪大学講師 石塚 裕子 先生																																						
実施日	令和4年12月16日(金)15:00~16:30																																						
タイトル	「バリアフリーのひと・まちづくり」																																						
講師	大阪大学名誉教授 新田 保次 先生																																						
実施日	【1回目】令和4年10月20日(木)13:30~16:30																																						
	【2回目】令和4年11月17日(木)13:30~16:30																																						
	※講座内容は両日とも同じ																																						
タイトル	高齢者疑似体験	車椅子使用者に対する接遇																																					
講師	中国運輸局岡山運輸支局	倉敷市社会福祉協議会																																					
タイトル	視覚障がい者に対する接遇	講義「観光とADL」																																					
講師	倉敷市社会福祉協議会	理学療法士 川本 淳一 先生																																					

【令和4年度講習会の内容（講習3：制度論）】※いずれか1つ以上受講。

タイトル	みんなで考えるバリアフリー（ワークショップ） 「五感を使ってまち歩き」
実施日	令和4年8月30日（火）13：30～15：30
講師	大阪大学講師 石塚 裕子 先生

タイトル	わかりやすいデザイン（ワークショップ） 「チラシや掲示物のポイントを学ぼう」
実施日	令和4年9月12日（月）13：30～15：30
講師	川崎医療福祉大学教授 青木 陸祐 先生

【令和4年度講習会の様子】



講義（総論）



接遇研修（高齢者疑似体験）





接遇研修（車椅子）

工夫・留意した点	講義形式と体験形式の講習を実施することで、知識の習得と自らの体験を通しての「気づき」を得ることに繋げる。
実施形式	<ul style="list-style-type: none"> ・講習1：講義 ・講習2：高齢者疑似体験、車椅子体験、多目的トイレの介助指導、ガイドヘルプ体験、講義 ・講習3：ワークショップ、講義
費用	講師謝金。高齢者疑似体験セットや車椅子は倉敷市社会福祉協議会より借用。
運営体制	講習会受付・進行等は倉敷市職員。接遇研修では、中国運輸局岡山運輸支局及び倉敷市社会福祉協議会の方々に講師としてご参加いただいた。 審議会委員には学識経験者、福祉関連団体や美観地区周辺の関係団体の方等にご就任いただいている。

4. バリアフリー整備済み箇所現地点検（米子市）

実施主体	主催：米子市交通政策課（米子市交通バリアフリー推進協議会）
参加者	米子市交通バリアフリー推進協議会委員（高齢者、障害者等に関する団体等）
テーマ	米子市交通バリアフリーの進捗状況について現地を確認し、今後の施策につなげる。
取組の概要	<p>米子市交通バリアフリー推進協議会において、平成24年度からバリアフリー基本構想に基づき整備した道路等について、現地点検による確認を行っている。点検結果について事業実施者へ提供し、当事者目線に立った更なるバリアフリー化を推進している。</p> <p>また、令和2年度からは、学生に参画してもらい現地点検で身体・聴覚・視覚障がいの疑似体験も実施している。</p> <p>①点検箇所のマップ</p>  <p>②点字ブロック</p>  <p>③歩道段差</p> 

	<p>④公共交通</p>  <p>⑤車椅子の疑似体験（学生）</p> 
工夫・留意した点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 班にグループ分けして実施。 ・ 点検終了後、引き続き意見交換を実施。 ・ 点検調査結果の整備計画及び整備状況の進捗乗降の報告会議の開催。
実施日時	年 2 回開催（まち歩き点検 1 回・報告会議 1 回）
実施形式	まち歩き点検
費用	委員報酬、手話通訳者及び介助員の派遣費用、点字筆耕料
運営体制	米子市総合政策部交通政策課